

「いのちを救う 寄りそう プロジェクト」のご案内

実施期間：令和8年9月1日～30日



災害が起こると、
被災者のみなさんの困難はずっと続きます。
赤十字は医療救護にとどまらず、
こころのケアや救援物資の配分、
仮設住宅での支援など、不安のない
日常が戻るまで活動し続けます。

想いの力を、
救う力に。

いのちを**救う** 寄りそう PROJECT

 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

新キャンペーン「いのちを救う 寄りそう プロジェクト」について

このキャンペーンは、令和2年から実施してきた「ACTION！防災・減災プロジェクト」をリニューアルしたものです。テーマを「防災・減災の普及」に限定せず、「日赤の災害救護全般（防災減災、医療救護、こころのケア、防災ボランティア活動等）」を広く知っていただくことを目指しています。



日本赤十字社の救護活動といえば、
「災害時に被災地へ向かう」「現地での医療」「血液の運搬」といったイメージが多いかと思います。

一方、世の中に知られていない事実もあります。

- ・その後もずっと現地にいること
- ・日常が戻るまで支えていること
- ・心や生活まで関わっていること

つまり、「日常が戻るまで、支援を続けている事実」が知られていない。

“急性期の救護だけでは終わらない。

災害により苦しんでいる人々に寄りそい続ける。”

本プロジェクトはそんな想いが込められたプロジェクトです。

みなさまからのご寄付で実現した国内災害救護活動

令和8年岩手県大槌町林野火災

4月22日に岩手県大槌町で発生した林野火災により、多くの避難者が避難生活を余儀なくされました。

これに伴い、日本赤十字社では、岩手県庁および大槌町役場の要請に基づき、避難所環境に関するアセスメントを実施し、課題となっている食事、ベッドなどに関して進言を行いました。



段ボールベッドを展開する救護班

令和7年台風15号災害



市職員に傾聴とハンドケアを行う様子

台風第15号災害の対応について、静岡県からの要請を受け、日本赤十字社静岡県支部は被害の大きかった市町に、こころのケア活動の実施および救援物資の配布をいたしました。

日ごろから赤十字活動へのご理解・ご協力
心から御礼を申し上げます。

被災地の人々に寄りそう「こころのケア活動」とは？



こころのケアと聞くと、精神的にダメージを受けた人を対象とするものだと思われるかもしれませんが、救護所や避難所に来られる方、車中泊の方、壊れた自宅に留まっている方、また、被災自治体の職員などの支援者も含め、**被災地の全ての方々に必要な活動**です。

日赤のこころのケア活動は、精神科医や臨床心理士などの専門家が実施する支援ではありません。

研修により必要な知識や技術を身に付けたこころのケア要員が、**被災者の健康や身近な悩みなどをお聞きすることにより、安心感を築いていく心理的な支援**と、ハンドケアや足浴などのリラクゼーション、子どもの遊び場の設置、ストレス対処法の広報活動などの社会的な支援も柔軟に考えて活動する特徴があります。

従業員寄付の取り組みの周知によるご参加のお願い

1 従業員向け寄付（赤十字活動資金）周知によるご参加のお願い

本プロジェクトの趣旨につきましては、前述のとおり、国民一人ひとりが社会貢献に参画する機会の創出を図ることを目的としております。つきましては、日本赤十字社の活動にご支援を賜りたく、貴社従業員の皆様に向けた活動資金へのご協力につき、ご検討を賜りますようお願い申し上げます。

なお、お寄せいただきましたご寄付は、日本赤十字社が行う“いのちを救う”活動に活用させていただきます。

また、法人・団体様において実施いただく従業員向け寄付（赤十字活動資金）につきましては、当社にて貴社専用の従業員向け寄付サイトのURLを発行いたします。

つきましては、社内ポータルサイトや社内報等の各種社内向け広報媒体を通じて、情報発信にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、プロジェクト期間中、従業員向け寄付の周知にご協力いただいた法人・団体様のご希望に応じて、特設WEBサイト「SAVE365Magazine」

（<https://www.jrc.or.jp/lp/save365/>）内に社名（テキスト）を掲載いたします。

※貴社従業員専用の寄付サイトとなるため、外部への公開はご遠慮ください

※決済方法は、各種クレジットカード、paypay、AmazonPayとなります

※ご寄付の際はマイページ登録のうえ、2,000円からご協力いただけます

2 参加申込方法について

本プロジェクトにご参加いただける場合には、別添「令和8年『いのちを救う 寄りそうプロジェクト』参加申込書」を下記担当窓口あてメールにて送付願います。

各社様の従業員専用サイトにつきましては、専用URLの設定完了後よりご利用が可能となりますため、担当者からのご案内までお待ちいただけますと幸いに存じます。

3 申込受付とテキスト掲載時期について

申込受付とテキスト掲載の時期は次のとおり予定しております。

なお、令和8年8月6日（木）正午以降の受付については、特設WEBサイトへの社名掲載には応じられませんので予めご了承ください。

申込期日 令和8年8月6日（木）正午まで

掲載期間 令和8年9月1日（火）～令和8年9月30日（水）

「いのちを救う 寄りそう プロジェクト」の広報ツールについて

社員や関係者の皆様へ本プロジェクトのご周知等いただく際にご活用いただけますと幸いです。

①ポスター



- ・サイズは、B2・B3サイズをご用意しています。
- ・掲載期間：令和8年9月1日～9月30日
- ※左画像を使用しての無断利用はご遠慮願います。

②バナー

貴社のWEBサイト、SNS、社員向けサイト等で、特設WEBサイトのURL（<https://www.jrc.or.jp/lp/save365/>）を掲載いただき、情報発信にぜひご協力をお願いいたします。特設WEBサイトでは、「日赤の救護活動」を紹介するコンテンツを9月1日(火)から順次掲載(予定)です。

プロジェクトにご参加いただける企業・団体様には、貴社のWEBサイト等でご使用いただける、以下バナー画像（特設WEBサイトへのリンク用）をご提供いたします。



なお、誠に恐れ入りますが、広く一般の方の目に触れる形でのプロジェクト周知（貴社ホームページでの掲載等）は令和8年9月1日以降となるようにお願いいたします。